

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和4年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市大須賀児童館		担当課名	こども政策課	記入者職氏名	主事補 鈴木 登晃	
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市児童館条例						
	(2) 施設設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。						
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	集会室(27.04㎡)、遊戯室(71.86㎡)、図書室(26.00㎡)、事務室、便所						
	(4) 施設建設年度	昭和62年度						
	(5) 耐震性能の有無	有						
	(6) 将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	令和6年度 外部改修工事		3,000万円程度				
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社						
	(8) 指定期間	令和3年 4月1日 から 令和8年 3月31日 まで						
	(9) 債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし	※設定ありの場合、(期間 令和 3 年度～令和 7 年度)(限度額 109,800千円) ※大東児童館との2館で一括管理					
	(10) 施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営						
	(11) 自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(12) その他事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13) 事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(14) 利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 4 年度)						

区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	10,000	13,000	13,000	13,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	5,055	6,417	9,017		
	内訳 (施設・設備ごと)	児童館		5,055	6,417	9,017	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
D土日祝夜間							
区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		掛川市 社会福祉協議会			※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		1,309	1,233	896		
	(3)運営日数		240	273	291	289	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	2.0	2.0	2.0	2.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	5,610,981	7,377,529	6,823,515	7,614,200	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	61,664	56,230	53,278	77,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	671,171	32,917	72,705	66,000	
	⑤借上料	173,004	197,472	197,472	199,100	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	88,865	111,798	757,622	110,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	13,760	138,918	176,181	332,200	
	計	6,619,445	7,914,864	8,080,773	8,398,500	
	対前年度増減率		19.6	2.1	3.9	
区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	46,752	0	0	0	
	コピー機チャージ料	46,752	0	0	0	
	②修繕費	112,603	93,104	96,800	110,000	
	③光熱水費	502,116	544,614	532,896	550,000	
	④燃料費	14,955	6,550	0	22,000	
	⑤清掃費	167,434	157,511	103,191	100,000	
	⑥保守点検費	213,404	263,638	321,750	120,000	
	⑦その他(施設消耗品)	0	522,144	461,195	220,000	
	計	1,057,264	1,587,561	1,515,832	1,122,000	
対前年度増減率		50.2	△ 4.5	△ 26.0		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		7,676,709	9,502,425	9,596,605	9,520,500	
(4)合計のうち運営コストの割合		86.2	83.3	84.2	88.2	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	11,717,000	9,511,700	9,520,500	
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 自主事業の収入	37,200	126,050	182,570	
b) 自主事業の支出	166,871	251,979	387,490	
収支差額 a) - b)	△ 129,671	△ 125,929	△ 204,920	
c) その他事業の収入	6,500	2,451	52,062	受取利息、コピー代、電気ガス高騰給付金
d) その他事業の支出	4,680	0	0	
収支差額 c) - d)	1,820	2,451	52,062	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	2	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%	100%	3	
B サービス内容の満足度	90%	100%	3	
C 従業員対応の満足度	90%	100%	3	
D 施設安全対策の満足度	90%	100%	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%	98%	3	
F 施設の利用者数	12,000	9,017	1	【達成できていない点・主な課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴う事業縮小により、要求水準を下回る結果となっている。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、時間や人数制限も緩和していき、利用者の再確保を図る。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・主な利用者である子育て親子、小中学生から利用料等の徴収を行わないため、収支差額が赤字となっている。当該施設は、健全な児童育成の観点で有益な施設であると考える。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設や設備の老朽化が進んでいる。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・職員の中で、常に安全対策について考え、話し合い、同じ建物を共有している老人福祉センター職員と連携を図りながら、危険な箇所や遊具の点検を心掛けている。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	・地域の団体、関係施設と連携を取りながら、地域に根差した児童館活動を実施している。地域と行政を繋ぐ役割も果たしていくように努力している。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

24

／ 33

V その他自由意見

--